

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-206	小学校	道徳科	道徳	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	道徳 213	小学どうとく2 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。編修に際しては、「児童一人一人が、多様な人々と関わりながら、自己を見つめ、社会へとはばたいていけるように」ということを心がけました。教育基本法に示された目標を達成するために、現代社会に合った多種多様な教材により、考え、議論する道徳授業を実現し、児童の認識を深め、変容を促すことができるよう、以下の3つの工夫を施しました。



特色 1

魅力ある多種多様な教材がある教科書



児童が道徳的価値を自分との関わりで考え、話し合うことができるように、日常生活での事例、現代的な課題、先人の生き方、感動的な物語などの多種類の教材を掲載しました。また、教材に合った多様な指導方法も取り入れました。

特色 2

考え、議論する道徳授業が実現できる教科書



道徳の授業は、答えが一つではありません。児童が教材内容を自分事として考え、他者と話し合い、多面的・多角的に考えを深めていけるように、教材の構成を工夫しました。

特色 3

児童の心の成長を促す教科書



授業で考えたことや気づいたことが児童の道徳性を育み、よりよく生きるための土台となるよう、6年間の成長をイメージして教材を配列しました。また、授業をふり返ることで自己の成長を感じることができます。

児童が学びたくなる新しい教材をそろえ、コラムも充実しました

『⑩ すてきな二年生』(p.44~47)

ポイント① 教材数

本教材30本+補充教材5本で構成しており、本教材30本で全ての内容項目をおさえることができます。補充教材に替えて地域教材や自作教材を扱うことも可能なので、学校の実態に合わせた指導ができます。



「公団であそびたいんだって。」
「おらん~にのりたいたんだもん。」
それを聞いたいちさんは、一年生にやさしく、「ペンきょうがおわったら、そのあとで、いっばいあそぼう。朝の会がはじまるから、もう学校に行こうよ。」
と首をかしげました。そして、「一年生といちさんはいっしょに歩きだしました。」
(だいちさんは、すてきな一年生だ。)

「お母さん、おはよう。わたし、一人でおきたよ。」
「おはよう。一人でおきたなんて、えらいね。」
「うん、早起おきするってきめたんだ。」
(よし、すてきな二年生へのだい「一歩だ」)
さらさんは、はりきって学校に行きました。

つぎの日、さらさんは早起をしました。そして、お母さんにあいさつをしました。
「お母さん、おはよう。わたし、一人でおきたよ。」
「おはよう。一人でおきたなんて、えらいね。」
「うん、早起おきするってきめたんだ。」
(よし、すてきな二年生へのだい「一歩だ」)
さらさんは、はりきって学校に行きました。

「みさん、夏休みが終わって、朝がっけがはじまりました。自分の生活を見直して、すてきな二年生になるために、できることを考えてみましょう。」
さらさんは、すてきな二年生になるために自分ができることを考えてみました。

「公団であそびたいんだって。」
「おらん~にのりたいたんだもん。」
それを聞いたいちさんは、一年生にやさしく、「ペンきょうがおわったら、そのあとで、いっばいあそぼう。朝の会がはじまるから、もう学校に行こうよ。」
と首をかしげました。そして、「一年生といちさんはいっしょに歩きだしました。」
(だいちさんは、すてきな一年生だ。)

視点と主題

導入の問いかけ

教材文

考えよう

●お話を読んで、みんなのどんな意見が出てくるか考えてみましょう。

●お話を読んで、みんなのどんな意見が出てくるか考えてみましょう。

ふかめよう

●すてきな二年生になるために、自分ができることを考えてみましょう。

●すてきな二年生になるために、自分ができることを考えてみましょう。



教室に入ると、みきさんが、にこにこした顔でランドセルからノートを取り出して見ました。
さらさんがうれしそうにしているのを見て、みきさんが、「さのうの夜、つぐえの上やへやをきれいにしたり、わすれものがないかたしかめたりしたおかげで、ノートが入ってないことに気づいたんだ。もちものかくにんって大切だね。」
と、みきさんが言いました。

「みきさんも、すてきな二年生だ。」
さらさんがランドセルを覗いたとき、れんさんがうしろのあたりで、手をあつて見えた。通りかかった先生が言いました。
「どうこうしたら、まず、手あらい、いい心がけだね。ほら、みんなも手をあらおう。手あらいは、びょうきとぼうのために大切だよ。」
さらさんは、れんさんをまねて、ゆび先から手首まで、しっかりとあらいながら言いました。

「れんさんの手あらい、ていねいだね。」
「えへ。きう、先生の話を聞いて、何ができるか考えてみたんだ。」
(れんさんも、すてきな二年生だな。)
さらさんは、ハンカチで手をふきながら、
(もつとすてきな二年生になるために、できることをするぞ。)
と思いました。

新規教材16本

- ◆創作
- ④ あいさつのしかた……………あいさつを身につける
- ⑦ もう やらない! ……………みんなと楽しく生活する
- ⑩ ごみすて……………公正・公平に人と接する
- ⑪ すてきな二年生……………上級生としての意識をもって
- ⑮ しんじていいのかな……………情報モラル
- ⑳ わたしの町のおんこやさん……………伝統文化
- ㉒ くらべてみよう 日本とせかい……………国際理解
- ㉔ ぼくも手つだうよ……………家族としてできること
- ㉕ やっと会えたね……………生まれてきた命
- ㉘ つな引き大会……………みんなで力を合わせて
- ㉚ 友だち思い名人……………自分のよいところを見つける
- ㉛ ぼくたちのハッピーエール……………公正・公平な気持ちで

◆定番として使われているもの

- ⑤ お月さまと コロ……………素直な心をもつ
- ㉑ ぐみの木と小鳥……………親切、思いやり
- ③① ゆっきとやっち……………友達を大切に

◆絵本など

- ⑬ もったいない……………むだをなくす

新規コラム6本

- がんばりつづける 力……………自分は何をがんばりたいか知らないうちにだれかをきずつけているかも……
- ……………いじめ問題
- 自分や友だちのじょうほう、どうあつかう? ……情報モラル
- 自分のやるべきこと……………責任を果たす
- ありがたのつたえ方……………感謝の気持ちを伝える大切さ
- 生まれたいのちは……………生命尊重

答えたくなる発問が、児童の認識を深めたり、変容させたりします

『⑮ しんじていいのかな』(p.58~61)

じょうほうとむき合う

考えよう

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

ふかめよう

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

考えよう

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

あなたなら、インターホンに出ようかまよっている「わたし」へ、どのようなアドバイスをしますか。

ふかめよう

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

あなたなら、インターホンに出ようかまよっている「わたし」へ、どのようなアドバイスをしますか。

「わたし」が、ぎっと、だいじょうぶだと感じたのはなぜですか。

あなたなら、インターホンに出ようかまよっている「わたし」へ、どのようなアドバイスをしますか。

【学びの手引き】

授業の展開を考えて教材開発をしていくことで、より児童が答えたくなる発問となりました。発問数は、「考えよう」が2問、「ふかめよう」が1問と精選し、負担感の少ないすっきりとした手引きとなりました。教材によって、適宜、「やってみよう（役割演技）」や「つなげよう（日常生活に生かす）」を設けています。

【自己評価欄】

教材の最後には、授業で感じたことをすぐに記録できる自己評価欄を設けました。「◎・○・△・×」など、児童なりの表現で自由に記述することができます。

◀コラム「自分や友だちのじょうほう、どうあつかう？」(p.62~63)

じょうほうとむき合う

自分や友だちのじょうほう、どうあつかう？

知らない人、友だちのじょうほう、どうあつかう？

知らない人、友だちのじょうほう、どうあつかう？

知らない人、友だちのじょうほう、どうあつかう？

知らない人、友だちのじょうほう、どうあつかう？

ポイント③ コラム

教材のあとにコラムを設けることによって、児童の認識をさらに深めたり、考えを広げたりすることができるようにしました。巻末に設けた資料も同様に役立てることができます。

2. 対照表（教育基本法との対照表）

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当箇所
2 知らない 人にも	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うために、児童の発達段階や日常生活との関連に配慮して教材を配置しました。	第一号	10-12
4 あいさつの しかた			16-17
5 お月さまと コロ			18-21
8 金の おの			30-33
11 すてきな二年生			44-47
13 もったいない			52-55
15 しんじていいのかな			58-61
19 ありがとうはだれが言う？			76-79
23 きつねとぶどう			92-97
30 しあわせの王子	124-127		
3 「つよいこころ」	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の主体性にも気をつけて教材を配置しました。	第二号	13-15
6 あと 少し			22-25
18 はりきりパンダと だらだらパンダ			72-75
20 ゆかみがき	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう、日常生活を見すえた教材を配置しました。	第二号	80-83
27 とおるさんのゆめ			112-115
32 友だち思い名人			132-135
9 みほちゃんと、となりの せきの ますだくん	他者と関わる中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、友達などと協力することの重要性を学ぶことができるような話題を取り上げ、教材を配置しました。	第三号	34-39
10 ごみすて			40-42
12 電車の中で			48-51
14 みんなのものって？			56-57
16 ぼんたとかんた			64-67
17 いいのかな			68-71
24 ぼくも手つだうよ			98-101
26 おむかえ			106-110
29 ぐみの木と小鳥			120-123
31 ゆっきとやっち			128-131
33 ぼくたちのハッピーエール			136-139
7 もう やらない！	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階や日常生活との関連を重視して教材を配置しました。	第三号	26-29
28 つな引き大会			116-119
1 春が いっぱい	生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階や日常生活に即した話題を取り上げました。	第四号	6-9
25 やっと会えたね			102-105
34 虫が大すき (アンリ・ファール)			140-143
21 わたしの町のあんこやさん	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階や日常生活との関連を重視して教材を配置しました。	第五号	84-87
22 くらべてみよう 日本とせかい			88-91
35 日本のたから 富士山			144-147
資料：みに つけよう れいぎ・マナー	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように教材を配置しました。	第一号	148-151
巻末資料：学しゅうを ふりかえろう	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように教材を配置しました。	第二号	153-159

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

注目！ 全ての児童にとって学びやすくするための配慮

①ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

*ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

*カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面のデザインやイラスト、図版などは、色覚の個人差を問わずより多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインになっています。

②特別支援教育への配慮

専門家による校閲を受け、すべての児童の学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

③人権教育への配慮

人種や身体的特徴、障がいの有無にかかわらず、お互いの個性やよさを認め合い、ともに楽しく学び、生活していくことができるように工夫しました。教材の登場人物やイラスト・写真については、性別による偏りがないように配慮しています。

注目！ 今日的課題への取り組みと工夫

①カリキュラムマネジメントの工夫

学校における道徳教育の要として、他教科や特別活動、学校行事、年中行事などとの関連を図った学習計画が立てやすくなっています。

また、学年の教材が「本教材」30本+「補充教材」5本構成となっているので、「補充教材」に替えて地域教材や学校独自の教材を使った学習に充てることができます。地域や学校で設定した重点課題などに取り組むことができる教材構成です。

②EDS、SDGsへの取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、EDSやSDGsに取り組めるような教材や資料を掲載しました。



目標8



目標12



目標15

注目！ デジタル機器を活用した学習への配慮

学習に役立つ情報を「まなびリンク」としてウェブサイトに掲載しています。教科書の二次元コードでアクセスすることにより、効果的な学習を行うことができます。

[ウェブサイト掲載内容]

- あらすじ
- 登場人物紹介
- 参考図書

個別学習での活用は児童の理解を深め、共同学習では学び合いの意欲を高め、家庭学習では主体性を養うことができます。



学びやすく、教えやすい「学びの手引き」

授業の展開に合わせて2種類の「学びの手引き」を用意しました。

▼通常の「学びの手引き」の例 (p.79『19 ありがとうはだれが言う?』)

考えよう

●スーパーマーケットからの帰り道におばあちゃんの話聞いて、「ぼく」は、どのよう思ったでしょう。

☆バスをおりたあと、「ぼく」がちよっぴりさわやかな気持ちになったのはどうしてでしょう。

5

つなげよう

●あなたは、生活の中で、どのようなときに「ありがとう」と言いますか。

ふかめよう

●「ありがとう」と言われたことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。

【考えよう】

- 授業の「展開」段階で活用できる発問を二つ設けました。教材を読んで、登場人物の気持ちや行動などから、道徳的価値について考えます。
 - *登場人物の心情や行為の理由を問う発問（場面発問）
 - *教材のテーマを追究する発問（テーマ発問）
 など、1時間の授業でテーマについて考えるための発問を用意しました。
- その時間のねらいとする道徳的価値に深く関わる中心的発問（☆発問）は、「特に考えてほしいこと」として目立たせました。その教材で取り上げている道徳的価値をつねに意識して、授業を進めることができます。
- キャラクターの発言は、児童の多様な考えを引き出すきっかけづくりに活用できるので、授業の活性化に役立ちます。

【ふかめよう】

- 授業の「終末」段階で活用できる発問を設けました。
 - *道徳的価値を実現するよさや難しさの確認
 - *道徳的価値に対して考えたことのまとめ
 などについての自分の考えを深めるための発問です。「自分ならどうするか」を考えることによって、道徳的価値を自らに引きつけて考えることができます。

【やってみよう】

- 「考えよう」の中に、適宜、「やってみよう」を設けました。
 - *教材の場面をそのまま演じる活動（動作化）
 - *教材に登場する人物の役割を即興的に演じる活動（役割演技）をとおして、登場人物の心情や行為に共感し、道徳的価値を深く理解することができるようになります。

【つなげよう】

- 「考えよう」「ふかめよう」のあとに、適宜、「つなげよう」を設けました。
 - *日常生活とつなげる発問（シミュレーションなど）
 - *他教科や特別活動とつなげる発問（調べ学習など）をとおして、授業で学んだことをより実生活につなげて考え、生かすことができます。

もんだいを 見つける

●この お話で、もんだいだと思っ たことは なんですか。

●どうして、そのようなもんだいが おきたのでしょう。

かいつほうほうを 考える①

●どうして いれば、もんだいが おきずに すんだのでしょう。

かいつほうほうを 考える②

●みんなの ところへ かけたはずとくは、なんと 言えば よいでしょう。また、みんなは はずとくは、なんと 言えば よいでしょう。

考えた ことを 生かす

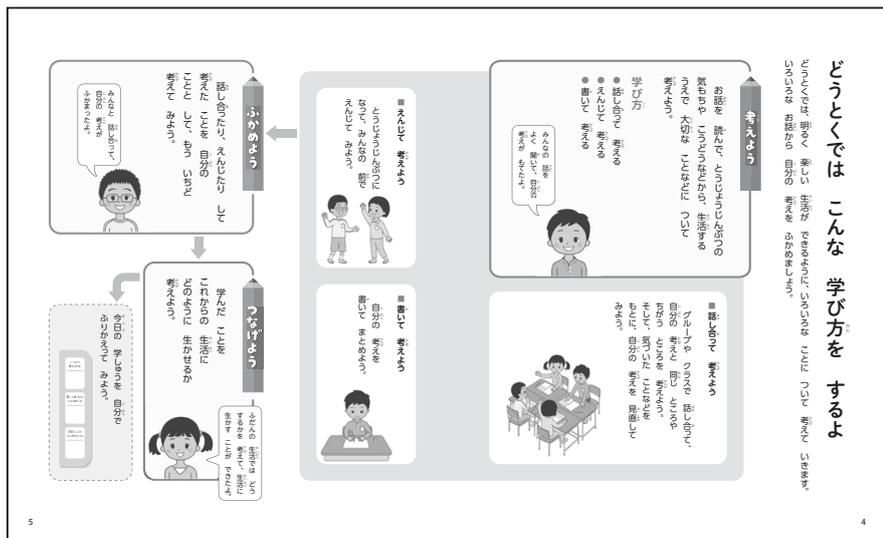
●みんなと あそぶ とき、大切に したい ことは なんですか。

◀問題解決的な学習の「学びの手引き」の例

(p.29『7 もう やらない!』)

新たに問題解決的な学習ができる「学びの手引き」を用意しました。

1年間の学びを豊かに重ねる「学びのガイダンス」「自己評価欄」「学習のふり返し」



【学びのガイダンス】 (p.4~5)
教科書の巻頭には、1時間の授業の流れがイメージできる「どうとくではこんな学び方をすよ」を設けました。教材末の「学びの手引き」の構造に合わせて解説しているの、無理なく学習に入ることができます。

【自己評価欄】
(p.134~135)
各教材末にあるので、授業で感じたことをすぐに記録できます。

このページには、先生と生徒のやり取りのイラストと、その後の自己評価欄が掲載されています。先生は「あれ、もう本だながびかびかだ。本もきれいにそろっている。」と話し、生徒は「おどろいた声で、ゆうとさんが言った。『あきらさんがやってくれたの？ ありがとう。』」と返答しています。また、自己評価欄には「考えよう」と「ふかめよう」という欄があり、学習の振り返りを促しています。

ワークシートの活用
受けた授業の記録には、教師用指導書のワークシートを活用すると便利です。ワークシートによって記録を蓄積することで、評価をする際のポートフォリオとして活用できます。

【学習のふり返し】 (巻末付録)
教科書の巻末には、学期末と年度末に学習をふり返ることができるシートを用意しました。児童が自分の成長を感じることができるとともに、提出できる形式になっているので、評価資料としても活用できます。

「学習のふり返し」シート（左）

このシートには、学習の振り返りを記入するための大きな空白スペースと、右側の「学ばうをふりかえし」の欄があります。また、下部には「お名前」の欄と「お誕生日」の欄が設けられています。

「1年間の学ばうをふりかえろ」シート（右）

このシートは、1年間の学習の振り返りをまとめるためのものです。上部には「1年間の学ばうをふりかえろ」という大きな見出しがあり、その下に記入するためのスペースが広がっています。また、下部には「お名前」の欄と「お誕生日」の欄が設けられています。

検討の観点と内容の特色



観点	内容の特色（該当箇所掲載）
教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法（第2条）に示されている目標を達成するために、魅力ある多種多様な教材で、考え、議論する道徳授業を実現し、児童の心の成長を促すようにしています。全体
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 小学校学習指導要領（道徳）に示されている各学年段階の内容項目については、各学年においてバランスよく全ての項目を取り上げています。全体 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習をとおして、道徳的な判断力、道徳的な心情、実践意欲と態度を育てるようにしています。全体
「考え、議論する道徳」への対応	<ul style="list-style-type: none"> 定番教材などの読み物教材だけでなく、動物が主人公の物語教材、児童の生活場面を描いた生活教材、現代的な課題を扱った教材、先人・偉人を扱った教材など、みんなで考え、議論するのに適した多種多様で魅力的な教材を掲載しています。全体 「学びの手引き」をより児童が答えたいくなる発問で構成したり、「体験的な学習（モラルスキルトレーニング、役割演技）」や「問題解決的な学習」などの質の高い指導方法を取り入れたりすることによって、より深く考え、活発な議論ができるようにしています。全体
構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書全体は、「道徳で学習すること」「道徳の学び方」「本教材とコラム」「補充教材」「巻末資料」「ふり返しシート」で構成しており、1年間の学習の流れが見とおせるようになっています。全体 教材は、「視点と主題名」「導入」「教材文」「学びの手引き」「自己評価欄」で構成しており、1時間の学習の流れが見とおせるようになっています。各教材 他教科や特別活動と連携しやすい時期に教材を配置し、学習効果が高まるようにしています。全体 全学年をとおして、無理なく学習できるよう教材内容を精選して、児童にとってわかりやすく、考え、議論する時間が十分にとれるようにしています。また、本教材30本ですべての内容項目をおさえることができるので、学校の実態に応じた年間指導計画が立てやすくなっています。全体
今日的な課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な課題である「いじめ問題」と「情報モラル」については、全学年で特に大切にしているテーマとしてユニット化し、効果が高まるように工夫しています。また、2年生においては、「生命の尊さ」についても同様の扱いをしています。p.34-43、58-63、102-111 現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題については、児童が持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD、SDGsに取り組むことができるようにしています。全体
評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> 各教材末の「自己評価欄」や巻末付録の「学習のふり返し」の記述内容から、児童の成長を見取り、評価に生かすことができるようにしています。各教材末、巻末付録①-④ 授業ごとの記録には、教師用指導書のワークシートが活用できます。教師用指導書
家庭や地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で「家族や地域社会と自分との関わり」について考える教材を掲載し、家族や地域社会の一員として、その役割と責任が自覚できるようにしています。p.6-9、44-47、58-63、84-87、98-101
デジタル機器を利用した学習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 教材の頭や末に設けた二次元コードを通じて、教材の理解を助ける「教材の解説」や学びを深めたり、広げたりできる「図書紹介」などのデジタルコンテンツを活用できるようにしています。各教材
人権教育・特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の専門家による校閲を受け、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるようにしています。全体 特別支援教育の専門家の校閲を受け、学習上支援が必要な児童にとっても紙面全体が読みやすく、わかりやすい紙面構成にしています。全体 色覚の個人差を問わず、多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。全体 本文書体には、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。全体
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> 環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工を施しています。全体 ページ数を抑え、用紙を軽量化することで児童の身体的な負担を軽減しています。全体 製本には、あじろ綴じを用い、長期間の使用に耐えられる堅牢なつくりをしています。全体

2. 対照表（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	時数	学期
	視点※	内容項目			
どうとくでは こんな 学び方を するよ	—		4-5	—	一学期
1 春が いっぱい	D	自然愛護	6-9	1	
2 知らない 人にも	B	礼儀	10-12	1	
3 「つよいこころ」	A	善悪の判断、自律、自由と責任	13-15	1	
4 あいさつの しかた	B	礼儀	16-17	1	
5 お月さまと コロ	A	正直、誠実	18-21	1	
6 あと 少し コラム「がんばりつづける 力」	A	希望と勇気、努力と強い意志	22-25	1	
7 もう やらない！	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	26-29	1	
8 金の おの	A	正直、誠実	30-33	1	
9 みほちゃんと、 となりの せきの ますだくん	B	友情、信頼	34-39	1	
10 ごみすて コラム「知らない うちに だれかを きずつけて いるかも……」	C	公正、公平、社会正義	40-43	1	前期
11 すてきな二年生	A	節度、節制	44-47	1	
12 電車の中で	B	親切、思いやり	48-51	1	
13 もったいない	A	節度、節制	52-55	1	
14 みんなのものって？	C	規則の尊重	56-57	1	
15 しんじていいのかな コラム「自分や友だちのじょうほう、 どうあつかう？」	A	節度、節制	58-63	1	
16 ぼんたとかんた	A	善悪の判断、自律、自由と責任	64-67	1	
17 いいのかな	C	規則の尊重	68-71	1	
18 はりきりパンダとだらだらパンダ コラム「自分のやるべきこと」	A	希望と勇気、努力と強い意志	72-75	1	
19 ありがとうはだれが言う？	B	感謝	76-79	1	
20 ゆかみがき	C	勤労、公共の精神	80-83	1	後期
21 わたしの町のあんこやさん	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	84-87	1	
22 くらべてみよう 日本とせかい	C	国際理解、国際親善	88-91	1	
23 きつねとぶどう コラム「ありがとうのつたえ方」	B	感謝	92-97	1	
24 ぼくも手つだうよ	C	家族愛、家庭生活の充実	98-101	1	
25 やっと会えたね	D	生命の尊さ	102-105	1	
26 おむかえ コラム「生まれたいのちは」	C	家族愛、家庭生活の充実	106-111	1	
27 とおるさんのゆめ	A	個性の伸長	112-115	1	
28 つな引き大会	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	116-119	1	
29 ぐみの木と小鳥	B	親切、思いやり	120-123	1	
30 しあわせの王子	D	感動、畏敬の念	124-127	1	三学期
31 ゆっきとやっち <補充教材>	B	友情、信頼	128-131	1	
32 友だち思い名人 <補充教材>	A	個性の伸長	132-135	1	
33 ぼくたちのハッピーエール <補充教材>	C	公正、公平、社会正義	136-139	1	
34 虫が大すき（アンリ・ファーブル） <補充教材>	D	自然愛護	140-143	1	
35 日本のたから 富士山	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	144-147	1	適宜
資料：みに つけよう れいぎ・マナー	B	礼儀	148-151	—	

※四つの視点 A：主として自分自身に関すること（11教材）、B：主として人との関わりに関すること（8教材）、
C：主として集団や社会との関わりに関すること（12教材）、D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること（4教材）。
□の部分にはユニット構成になっているところを示している。